

住宅建築分野における現場開設・運用の取組が始まっています！

- 建設キャリアアップシステムについては、9月末時点で、技能者登録が11万6,290人、事業者登録が2万2,516社となっています。
そして、元請事業者による現場・契約情報登録が約8,000件となっています。
- 住宅建築分野の現場開設・運用を推進していくため、住宅建築系の各建設業団体が一致協力して、カードリーダーを実際の現場に導入し、運用の実体験を通じて、業界全体に普及啓発していく取組を始められています。
本年9月2日(月)のキックオフ会合に続き、10月11日(金)には、参加団体と現場運用事業者が一堂に会して、説明会が開催されました。その際、国土交通省住宅局木造住宅振興室の担当官もご臨席され、激励と期待の御挨拶をいただきました。
※ 参加団体は次のとおりです。
(一社)JBN・全国工務店協会、全国建設労働組合総連合、(一社)全国住宅産業地域活性化協議会、(一社)全国中小建築工事業団体連合会、(一社)日本ログハウス協会、(一社)愛知県建設団体連合会
- 説明会の中では、今年度内の実施スケジュールに加え、現場・契約情報登録に関し現場管理者(監督)を決めて現場の登録をシステム上で簡便に行う方法の説明、現場に入る事業者・技能者や地域に登録現場であることをアピールする「登録済現場ステッカー」の紹介、就業履歴登録アプリ「建レコ」をインストールした通信機材とカードリーダーのセットである「現場キット」(試作品)の使い方などが議題となりました。
参加者から現場キットの使い勝手の向上のための工夫に関する御提案をいただくなど現場開設・運用をスムーズに進める方向で活発な情報交換が行われました。

<説明会の様子>



説明会において、「建レコ」の屋外用現場キット(試作品)のデモンストレーションを行いました。雨に降られても大丈夫とのこと！

